

# 令和 7 年度 水道実施設計書

審査 設計者

工事番号  
(設計書コード) 37-FE350-07-01-02

建設工事名 市道仮宿下付田高田線道路整備工事に伴う配水管布設工事

路線河川名 建設工事箇所 藤枝市 仮宿・高田 地内

建設工事金額

工 期 週休2日推進工事補正 (月単位の週休2日(合計))

## 建設工事概要

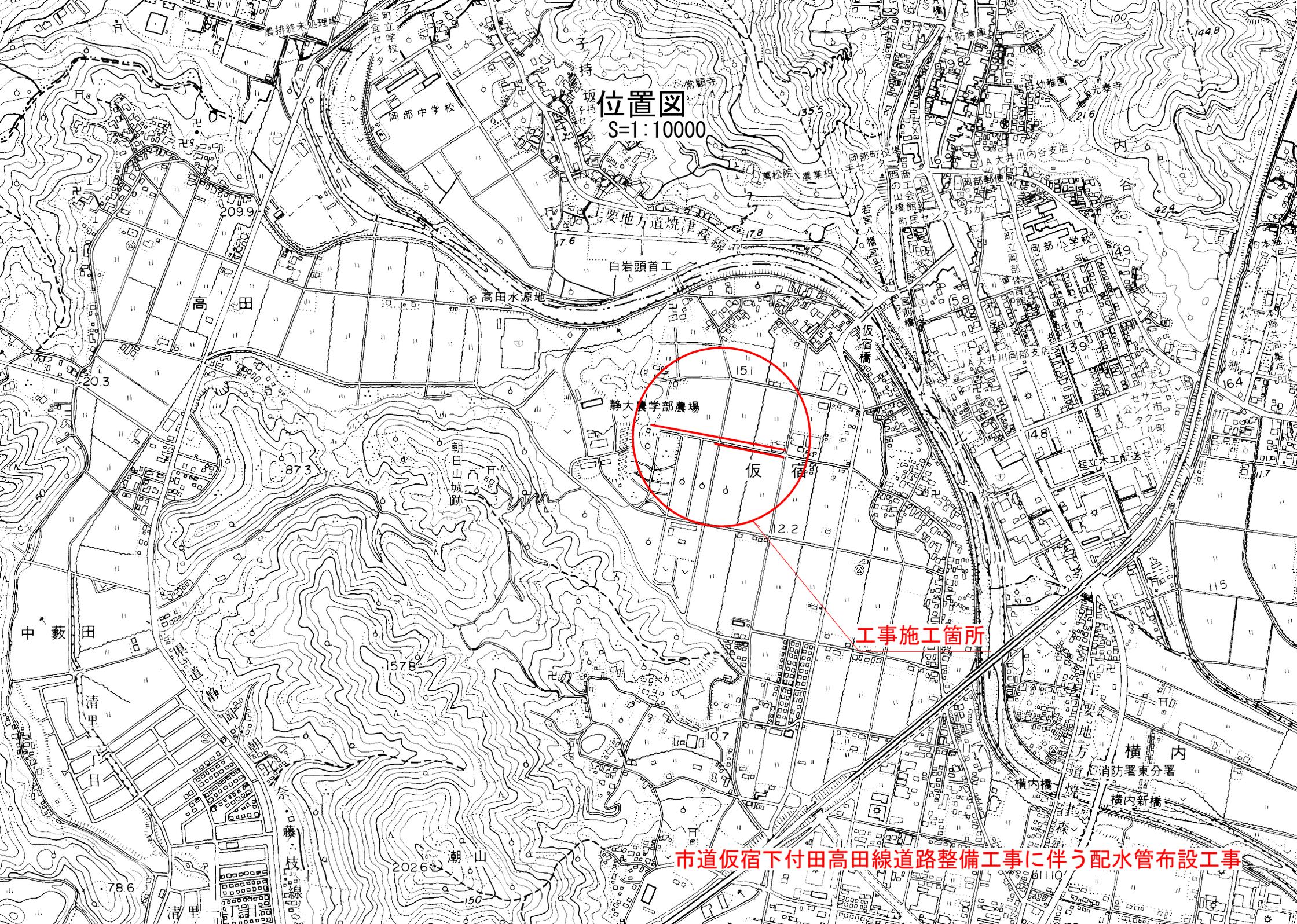
施工延長	458.4	m
HPE径150	153.4	m
HPE径100	303.4	m
仕切弁径150	2	基
仕切弁径100	3	基
ドレン工	1	箇所

歩掛・単価適用年度 令和 7年 5月 基本単価 令和 7年 5月 地区コード 220 地区

起 終 点 指 定 ⇔

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である

位置図  
S=1:10000



工事施工箇所

市道仮宿下付田高田線道路整備工事に伴う配水管布設工事

# 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					
- 施工延長	m	458.4			コメント行 数量コードSEG
- HPE径150	m	153.4			コメント行 数量コードH15
- HPE径100	m	303.4			コメント行 数量コードH10
- 仕切弁径150	基	2			コメント行 数量コードS15
- 仕切弁径100	基	3			コメント行 数量コードS10
- ドレン工	箇所	1			コメント行
-- 業者購入管材	式	1			
--- HPE径150	式	1			

# 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ150	本	26			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ150	本	4			
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ150	個	2			
---- 配水P用 EFベンド(両受) φ150×45°	個	8			
---- 配水P用 EFベンド(両受) φ150×90°	個	4			
---- 配水P用 メカジョイント インナーコア含 φ150	個	1			
--- HPE径100	式	1			
---- 配水ポリエチレン管 EF片受直管 φ100	本	53			
---- 配水ポリエチレン管 直管 JWWA K144 φ100	本	7			

# 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EFソケットJWWA K145 φ100	個	3			
---- 配水P用 EFベンド (両受) φ100×45°	個	12			
---- 配水P用 EF異径チーズ (両受) φ100×φ 50	個	1			
---- 配水P用 メカジョイント インナーコア含 φ100	個	1			
--- 仕切弁材料	式	1			
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ150	基	2			数量コードS15
---- 配水P用 PEソフトシール仕切弁 鋳鉄製 (両挿) φ100	基	3			数量コードS10
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	5			
--- ドレン材料	式	1			

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 配水P用 EFフランジ短管 (PE受口) KVパッキン・SUS BN 含 φ 50	個	1			
---- フランジサポート φ 50	個	1			
---- 穴あきフランジ φ 50×50	個	1			
---- HIバルブソケット (インサート付) φ 50	個	1			
---- 水道用HIビニール管 φ 50×5.0m	本	1			
---- HIエルボ90° φ 50	個	2			
---- 仕切弁粉体FCD+F接合材2組 φ 50SS7.5kgf/cm <sup>2</sup> JWWA B-120	基	1			
---- 仕切弁筐 (テーパー蓋・受枠三点固定式) CVONS-20G-25LNU 鋳物中蓋タイプ・小型床版、塩ビ台座、VP管含む	基	1			
--- 仮ドレン材料	式	1			

# 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- HIエルボ90° φ50	個	2			
---- HIバルブソケット(インサート無) φ50	個	6			
---- HIキャップ φ50	個	2			
--- 管表示・被覆材料	式	1			
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケータイングワイヤ-設置工 φ150(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	153.4			第 1号表 数量コードNR5 M0248
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケータイングワイヤ-設置工 φ100(材) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	303.4			第 2号表 数量コードNR0 M0239
---- 埋設標識シート設置工(材)	m	441.8			第 3号表 数量コードMHS M0030
-- 管布設工	式	1			
--- HPE径150	式	1			

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管据付工 PE管(融着接合) φ150mm 人力	m	153.4			第 4号表 数量コードH15
---- 管継手工 PE管 融着接合(1口) φ150mm	口	26			第 5号表
---- 管継手工 PE管 融着接合(1箇所) φ150mm	箇所	14			第 6号表
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ150mm	口	3			第 7号表
---- 管切断工 PE管 φ150mm	口	11			第 8号表
--- HPE径100	式	1			
---- 管据付工 PE管(融着接合) φ100mm 人力	m	303.4			第 9号表 数量コードH10
---- 管継手工 PE管 融着接合(1口) φ100mm	口	53			第 10号表
---- 管継手工 PE管 融着接合(1箇所) φ100mm	箇所	16			第 11号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 PE管 メカニカル継手 φ100mm	口	3			第 12号表
---- 管切断工 PE管 φ100mm	口	8			第 13号表
--- 仕切弁設置工	式	1			
---- 仕切弁設置工 φ150 機械 鑄鉄製仕切弁 縦型	基	2			フランジ接合は含まない 第 14号表 数量コードS15
---- 仕切弁設置工 φ100 機械 鑄鉄製仕切弁 縦型	基	3			フランジ接合は含まない 第 15号表 数量コードS10
---- 仕切弁筐設置工	箇所	5			M0080 第 16号表
--- ドレン設置工	式	1			
---- 管据付工 PE管 φ50mm 人力	m	0.5			第 20号表 数量コードD5
---- 管継手工 PE管 融着接合(1口) φ50mm	口	1			第 21号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- フランジ継手(鑄鉄管:JWWA 7.5K、銅管:F12) 接合工 φ 65mm以下	口	2			第 22号表
---- 管継手工 小口径管ねじ込み接合 φ50mm	口	1			第 23号表
---- 管据付工 VP管 φ50mm 人力	m	1.8			第 24号表 数量コードV5
---- 管継手工 VP管TS継手 φ50mm	口	5			第 25号表
---- 管切断工 VP管 φ50mm	口	3			第 26号表
---- 仕切弁設置工 φ100mm以下 機械 鑄鉄製仕切弁 縦型	基	1			フランジ接合は含まない 第 27号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	1			第 16号表 M0080
--- 仮ドレン設置工	式	1			
---- 管据付工 VP管 φ50mm 人力	m	3.2			第 24号表 数量コードKV5

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
---- 管継手工 VP管TS継手 φ50mm	口	12			第 25号表
---- 管継手工 小口径管ねじ込み接合 φ50mm	口	6			第 23号表
---- 管切断工 VP管 φ50mm	口	5			第 26号表
---- 仕切弁筐設置工	箇所	2			第 16号表 M0080
--- 管表示・被覆工	式	1			
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケータイングワイヤ-設置工 φ150 (工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	153.4			第 28号表 数量コードNR5 M0249
---- ナイロンスリーブ被覆工及びロケータイングワイヤ-設置工 φ100 (工) 油類及び有機溶剤浸透防止用	m	303.4			第 29号表 数量コードNR0 M0240
---- 埋設標識シート設置工 (工)	m	441.8			第 30号表 数量コードMHS M0150
-- 土工	式	1			

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
--- 掘削工					
	式	1			
---- 土砂掘削積込・仮置き					M0246
	m <sup>3</sup>	300			第 31号表 数量コードMCZ
---- 砂基礎工(再生砂)					M0180
	m <sup>3</sup>	100			第 34号表 数量コードRSZ
---- 土砂積込・運搬・埋戻し					M0247
	m <sup>3</sup>	120			第 35号表 数量コードRCZ
---- 発生土運搬・処理(10t積ダンプトラック) 駿遠開発事業(株) 切山残土処分場 牧之原市 切山字真菰沢 594 L=21.0km					M0190
	m <sup>3</sup>	160			第 37号表 数量コードZD
-- 仮設工					
	式	1			
--- 土留工					
	式	1			
---- アルミ矢板建込・引抜工(両側分) 掘削深2.0m以下					
	m	12			第 39号表
---- アルミ矢板建込・引抜工(両側分) 掘削深2.5m以下					
	m	8			第 40号表

## 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
----- 仮設材質料 (アルミ矢板) 24枚, 軽作業	m	12			第 41号表
----- 仮設材質料 (アルミ矢板) 24枚, 軽作業	m	8			第 42号表
----- 腹起材・切梁材 設置撤去工 (軽量金属) 1段	m	12			第 43号表
----- 腹起材・切梁材 設置撤去工 (軽量金属) 2段	m	16			第 44号表
----- 支保工損料 [A工区]	式	1			第 45号表 M0250
----- 支保工損料 [B工区]	式	1			第 46号表 M0265
直接工事費計					
工種区分 No. 63 開削工事及び小口径推進工事等					
共通仮設費 (地域補正しない)	式	1			

# 工 事 費 内 訳 表

区分・工種・種別・細別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理費	式	1			M0230 第 47号表
共通仮設費計					
純工事費計					
現場管理費 (地域補正しない)	式	1			
工事原価計					
一般管理費等 (金銭的保証を必要とする)	式	1			
工事価格計					
消費税相当額	式	1			
請負工事費					

測点 中間点 距離(m) コメント				数量計算表						測点間距離 20 m		
				MC1 機械掘削			RS1 埋戻し(再生砂)			RC1 埋戻し(現場発生土)		
				数量	平均値	立積(08)	数量	平均値	立積(08)	数量	平均値	立積(08)
0	+18.66	0.00	[1]	0.62			0.21			0.25		
3	+14.71	56.05	[1]	0.62	0.620	34.750	0.21	0.210	11.770	0.25	0.250	14.010
3	+14.71	0.00	[2]	1.19	0.910		0.21	0.210		0.82	0.540	
3	+18.05	3.34	[2]	1.19	1.190	3.970	0.21	0.210	0.700	0.82	0.820	2.740
3	+18.05	0.00	[1]	0.62	0.910		0.21	0.210		0.25	0.540	
8	+9.29	91.24	[1]	0.62	0.620	56.570	0.21	0.210	19.160	0.25	0.250	22.810
8	+9.29	0.00	[2]	1.19	0.910		0.21	0.210		0.82	0.540	
8	+12.63	3.34	[2]	1.19	1.190	3.970	0.21	0.210	0.700	0.82	0.820	2.740
8	+12.63	0.00	[1]	0.62	0.910		0.21	0.210		0.25	0.540	
14	+9.01	116.38	[1]	0.62	0.620	72.160	0.21	0.210	24.440	0.25	0.250	29.100
14	+9.01	0.00	[2]	1.19	0.910		0.21	0.210		0.82	0.540	
14	+12.35	3.34	[2]	1.19	1.190	3.970	0.21	0.210	0.700	0.82	0.820	2.740
14	+12.35	0.00	[1]	0.62	0.910		0.21	0.210		0.25	0.540	
16	+2.54	30.19	[1]	0.62	0.620	18.720	0.21	0.210	6.340	0.25	0.250	7.550
合 計		303.88			(MC1)	194.110		(RS1)	63.810		(RC1)	81.690

±I [BI区]				数量計算表						測点間距離 20 m		
測点 中間点 距離(m) コメント				MC2 機械掘削			RS2 埋戻し(再生砂)			RC2 埋戻し(現場発生土)		
				数量	平均値	立積(08)	数量	平均値	立積(08)	数量	平均値	立積(08)
0	+16.51	0.00	[3]	0.65			0.23			0.25		
3	+12.76	56.25	[3]	0.65	0.650	36.560	0.23	0.230	12.940	0.25	0.250	14.060
3	+12.76	0.00	[4]	1.25	0.950		0.23	0.230		0.85	0.550	
3	+16.06	3.30	[4]	1.25	1.250	4.130	0.23	0.230	0.760	0.85	0.850	2.810
3	+16.06	0.00	[3]	0.65	0.950		0.23	0.230		0.25	0.550	
7	+9.56	73.50	[3]	0.65	0.650	47.780	0.23	0.230	16.910	0.25	0.250	18.380
7	+9.56	0.00	[4]	1.25	0.950		0.23	0.230		0.85	0.550	
7	+12.86	3.30	[4]	1.25	1.250	4.130	0.23	0.230	0.760	0.85	0.850	2.810
7	+12.86	0.00	[3]	0.65	0.950		0.23	0.230		0.25	0.550	
8	+11.01	18.15	[3]	0.65	0.650	11.800	0.23	0.230	4.170	0.25	0.250	4.540
合 計	154.50				(MC2)	104.400		(RS2)	35.540		(RC2)	42.600

数量調整表			数量調整表優先
名称	コード	計算式	
施工延長	SEG (03)	= 458.38 = 458.380	

配管工		
数量調整表		
数量調整表優先		
名称	コード	計算式
HPE径150	H15 (03)	= 153.42 = 153.420 .....
HPE径100	H10 (03)	= 303.40 = 303.400

管被覆工・埋設シート 等

# 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
管被覆工径150	NR5 (03)	= 153.42 = 153.420 .....
管被覆工径100	NR0 (03)	= 303.40 = 303.400 .....
埋設標識シート	MHS (03)	= 458.38 - ( 3.34 * 3 + 3.3 * 2 ) = 441.760 .....
通水試験	TSS (03)	= 153.42 + 1.02 * 2 + 303.40 + 0.86 * 3 + 0.5 + 0.18 = 462.120

# 数量調整表

数量調整表優先

土工		
名称	コード	計算式
機械掘削	MCZ (08)	= MC1 + MC2 = 194.11 + 104.4 = 298.510 .....
埋戻し(再生砂)	RSZ (01)	= RS1 + RS2 = 63.81 + 35.54 = 99.350 .....
埋戻し(現場発生土)	RCZ (01)	= RC1 + RC2 = 81.69 + 42.6 = 124.290

# 数量調整表

数量調整表優先

ドレン		
名称	コード	計算式
ドレンPφ50	D5 (03)	$= 0.34 + 0.16$ $= 0.500$
ドレンVφ50	V5 (03)	..... $= 0.8 + 0.5 + 0.5$ $= 1.800$

数量調整表		
名称	コード	計算式
仮ドレンVφ50	KV5 (03)	$= 0.3 * 4 + 1.0 * 2$ $= 3.200$

数量調整表優先

# 数量調整表

数量調整表優先

仕切弁	数量調整表	
名称	コード	計算式
仕切弁φ150	S15 (06)	= 2 = 2.000 .....
仕切弁φ100	S10 (06)	= 3 = 3.000

# 数量調整表

数量調整表優先

処分		
名称	コード	計算式
残土	ZD (01)	$= MCZ - RCZ / 0.9$ $= 298.51 - 124.29 / 0.9$ $= 160.410$

MO248		ナイロンスリーブ被覆工及びロケータリングワイヤー設置工 φ150 (材) 油類及び有機溶剤浸透防止用				第 1号表
金	円	100 m 当り				
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要	
配水P用 ナイロンスリーブ φ150	枚	22				
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.672				
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	7.652				
ロケータリングワイヤー 100m	m	110				
計						
単価	m					

MO239		ナイロンスリーブ被覆工及びロケータリングワイヤー設置工 φ100 (材) 油類及び有機溶剤浸透防止用				第 2号表
金 円		100 m 当り				
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
配水P用 ナイロンスリーブ φ100	枚	22				
配水P用 アルミテープ 50m/巻	巻	1.224				
配水P用 防食テープ 10m/巻	巻	5.925				
ロケータリングワイヤー 100m	m	110				
計						
単価	m					

MOO30		埋設標識シート設置工(材)				第 3号表
金 円		100 m 当り				
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
埋設標識シート(ダブル) 幅 15cm 50m/巻	m	100				
計						
単価	m					

管据付工 PE管 (融着接合) φ150mm  
人力

第 4号表

金 円 10 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				
普通作業員	人				
計					
単価	m				

管継手工 PE管 融着接合 (1口)  
φ150mm

第 5号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所)  
φ150mm

第 6号表

金 円 1 箇所当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

管継手工 PE管 メカニカル継手  
φ150mm

第 7号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

管切断工 PE管 φ150mm

第 8号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

管据付工 PE管 (融着接合) φ100mm  
人力

第 9号表

金 円 10 m 当り

積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
計					
単価	m				

管継手工 PE管 融着接合 (1口)  
φ100mm

第 10号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

管継手工 PE管 融着接合 (1箇所)  
φ100mm

第 11号表

金 円 1 箇所当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

管継手工 PE管 メカニカル継手  
φ100mm

第 12号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

管切断工 PE管 φ100mm

第 13号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

仕切弁設置工 φ150mm  
機械 鋳鉄製仕切弁 縦型

第 14号表

金 円

1 基当り

フランジ接合は含まない

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				
普通作業員	人				
トラック運転 4-4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]	時間				
計					

仕切弁設置工 φ100mm以下  
機械 鋳鉄製仕切弁 縦型

第 15号表

金 円

1 基当り

フランジ接合は含まない

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				
普通作業員	人				
トラック運転 4-4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]	時間				
計					

M0080		仕切弁筐設置工		第 16号表	
金 円		1 箇所当り			
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仕切弁筐鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満規格相当	個	1			M0050 第 17号表
仕切弁ボックス設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当	個	1			M0060 第 18号表
仕切弁筐底板設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当	個	1			M0070 第 19号表
計					

MOO50		仕切弁筐鉄蓋設置工 円形250、重量30kg未満規格相当		第 17号表	
金	円	1 個当り			
積	算	単	数	単	金
項	目	位	量	価	額
摘 要					
普通作業員		人			
諸雑費		式	1		
計					

1, #等: 諸経費等対象額

MOO60		仕切弁ボックス設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当		第 18号表	
金	円	1 個当り			
積	算	単	数	単	金
項	目	位	量	価	額
摘 要					
普通作業員		人			
諸雑費		式	1		
計					

1, #等: 諸経費等対象額

MOO70		仕切弁筐底板設置工 円形250×150、重量30kg未満規格相当		第 19号表		
金	円	1 個当り				
積算項目		単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						

1, #等: 諸経費等対象額

管据付工 PE管 φ50mm  
人力

第 20号表

金 円 10 m 当り

積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
計					
単価	m				

管継手工 PE管 融着接合 (1口)  
φ50mm

第 21号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

フランジ継手 ( 鑄鉄管 : JWWA 7.5K、鋼管 : F12 ) 接合工  
φ 65mm以下

第 22号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工					1
	人				
普通作業員					1
	人				
諸雑費					
	%				
計					

管継手工 小口径管ねじ込み接合  
φ50mm

第 23号表

金 円 2 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					
単価	口				

管据付工 VP管 φ50mm  
人力

第 24号表

金 円 10 m 当り

積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
配管工	人				
普通作業員	人				
計					
単価	m				

管継手工 VP管TS継手  
φ50mm

第 25号表

金 円 2 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					
単価	口				

管切断工 VP管 φ50mm

第 26号表

金 円 1 口当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
諸雑費	%				
計					

1, #等: 諸経費等対象額

仕切弁設置工 φ100mm以下  
機械 鋳鉄製仕切弁 縦型

第 27号表

金 円

1 基当り

フランジ接合は含まない

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				
普通作業員	人				
トラック運転 4-4.5t積 2.9t吊 [クレーン装置付]	時間				
計					

MO249		ナイロンスリーブ被覆工及びロケータイングワイヤー設置工 φ150 (工) 油類及び有機溶剤浸透防止用			第 28号表	
金 円 100 m 当り		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO240		ナイロンスリーブ被覆工及びロケータイングワイヤー設置工 φ100 (工) 油類及び有機溶剤浸透防止用			第 29号表	
金 円 100 m 当り		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
配管工		人				
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO150		埋設標識シート設置工(工)		第 30号表		
金 円 100 m 当り		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
諸雑費		式	1			
計						
単価		m				

MO246		土砂掘削積込・仮置き		第 31号表	
金 円		1 m3 当り			
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
バックホウ掘削積込(土砂) バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)	m3	1			第 32号表
ダンプトラック運搬・4t積(管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3) DID区間有り, L=1km, 土砂	m3	1			第 33号表
計					

バックホウ掘削積込(土砂)  
バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3)

第 32号表

金 円 100 m3 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ [クローラ型] 運転 山積0.28m3(平積0.2m3) 排出ガス対策型(第2次基準値)	時間				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m3				

ダンプトラック運搬・4t積(管路掘削工事)  
 バックホウ 山積0.28m<sup>3</sup>(平積0.20m<sup>3</sup>)  
 DID区間有り, L=1km, 土砂

第 33号表

金 円 10 m<sup>3</sup> 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運搬 4t積 タイヤ損耗費:良好	日				
計					
単価	m <sup>3</sup>				

MO180		砂基礎工(再生砂)		第 34号表		
金 円 100 m3 当り		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
砂基礎工 機械施工(10m3以上)		m3	100			
再生砂(埋戻し用)		m3	126			
計						
単価		m3				

MO247		土砂積込・運搬・埋戻し		第 35号表	
金	円	1 m3 当り			
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
積込(ルーズ)	m3	1.2			SP 1号表
ダンプトラック運搬・4t積(管路掘削工事) バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3) DID区間有り, L=1km, 土砂	m3	1			第 33号表
管路埋戻工(機械埋戻・バックホウ) バックホウ 山積0.28m3(平積0.20m3) 路床材 各種	m3	1			第 36号表
計					

管路埋戻工 (機械埋戻・バックホウ)

バックホウ 山積0.28m3 (平積0.20m3) 路床材 各種

第 36号表

金 円 100 m3 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人				
普通作業員	人				
バックホウ [クローラ型] 運転 山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型 (第2次基準値)	時間				
タンパ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
路床材 各種	m3	133			
諸雑費	式	1			
計					
単価	m3				

MO190					
発生土運搬・処理 (10t積ダンプトラック) 駿遠開発事業(株) 切山残土処分場 牧之原市 切山字真菰沢 594 L=21.0km					
第 37号表					
金 円 1 m3 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
積込(ルーズ)	m3	1.2			SP 1号表
ダンプトラック運搬・10t積(管路掘削工事) バックホウ 山積0.8m3(平積0.6m3) DID区間有り, L=21km, 土砂	m3	1			第 38号表
残土処分費(第3種建設発生土)	m3	1.2			
計					

ダンプトラック運搬・10t積 (管路掘削工事)  
バックホウ 山積0.8m3 (平積0.6m3)  
DID区間有り, L=21km, 土砂

第 38号表

金 円 100 m3 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運搬 10t積級 タイヤ損耗費:良好	日				
計					
単価	m3				

アルミ矢板建込・引抜工 (両側分)  
掘削深2.0m以下

第 39号表

金 円 100 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ運転費 油圧式クローラ0.2m3 排出ガス対策型 (第2次基準値)	時間				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日				
諸雑費	式	1			
小計					
使用率 87%		0.87			

第 39号表

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
計					
単価	m				

アルミ矢板建込・引抜工 (両側分)  
掘削深2.5m以下

第 40号表

金 円		100 m 当り			
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ運転費 油圧式クローラ0.2m3 排出ガス対策型 (第2次基準値)	時間				
トラッククレーン オペレータ付き ラチスジブ型、油圧伸縮ジブ型4.9t吊	日				
諸 雑 費	式	1			
小計					
使用率 87%		0.87			

第 40号表

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
計					
単価	m				

仮設材賃料 (アルミ矢板)  
24枚, 軽作業

第 41号表

金 円 12 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板 賃料 有効幅333mm	日				
アルミ矢板 整備料 軽作業 有効幅333mm	回				
1枚当り賃料+整備料					
×使用数量 (単位: 枚)	枚				
計					
単価	m				

仮設材賃料 (アルミ矢板)  
24枚, 軽作業

第 42号表

金 円 8 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
アルミ矢板 賃料 有効幅333mm	日				
アルミ矢板 整備料 軽作業 有効幅333mm	回				
1枚当り賃料+整備料					
×使用数量 (単位: 枚)	枚				
計					
単価	m				

腹起材・切梁材 設置撤去工 (軽量金属)  
1段

第 43号表

金 円 100 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
計					
単価	m				

腹起材・切梁材 設置撤去工 (軽量金属)  
2段

第 44号表

金 円 100 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
計					
単価	m				

MO250		支保工損料 (A工区)		第 45号表		
金 円		1 式当り				
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
アルミ製腹起し材賃料 80×115×2000	日・本	10				
アルミ製腹起し材基本料 80×115×2000	本	4				
水圧サポート賃料	日・本	10				
水圧サポート基本料	本	4				
水圧手動ポンプ賃料	日・台	5				
水圧手動ポンプ基本料	台	1			3	
計						

MO265		支保工損料 [B工区]		第 46号表	
金 円		1 式当り			
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
アルミ製腹起し材質料 80×115×2000	日・本	24			
アルミ製腹起し材基本料 80×115×2000	本	4			
水圧サポート賃料	日・本	24			
水圧サポート基本料	本	4			
水圧手動ポンプ賃料	日・台	3			
計					

MO230		技術管理費		第 47号表	
金 円		1 式当り			
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
六価クロム溶出試験 環境庁告示46号溶出試験	件	1			
通水試験工 φ150mm以下 既設管と連絡なし	m	462.1			第 48号表 数量コードTSS
計					

通水試験工 φ150mm以下  
既設管と連絡なし

第 48号表

金 円 1000 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
配管工	人				1
普通作業員	人				1
運転手(一般)	人				1
器具損料及び諸雑費	%				
計					
単価	m				

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
横込 (ルース)	土質=土砂, 作業内容=土量50,000m <sup>3</sup> 未満 *土砂の種類=土砂(砂・砂質土)	SP 1号表

矢板(アルミ矢板)損料・運搬計算

工事名 市道仮宿下付田高田線道路整備工事に伴う配水管布設工事

矢板総重量 **302** kg

区間	A工区		
施工延長	L= 12.0 m	日進量	L= 4.0 m/日
矢板長さ	L= 2.5 m	矢板幅	w= 0.333 m/枚   矢板単位重量 w= 12.6 kg/枚
支保工	N= 1 段		
両側・片側	2 (両側:2、片側:1)		
換算施工日数	$D1 = \frac{\text{延長}}{\text{日進量}} = \frac{12}{4} = 3 \text{ 日}$		
不稼働率	$D2 = \frac{\text{延長}}{\text{日進量} \times \text{稼働率}} = \frac{12}{4 \times 1.5} = 2 \text{ 日}$		
換算日進量	$L = \frac{\text{延長}}{\text{換算日数}} = \frac{12}{3} = 4.0 \text{ m}$		
矢板枚数	$N = \frac{\text{延長}}{\text{矢板幅}} \times \text{両側} = \frac{4.0}{0.333} \times 2 = 24 \text{ 枚}$		
矢板運搬重量	$W = \text{枚数} \times \text{単位重量} = 24 \times 12.6 = 302.4 \text{ kg}$		
<b>100m当り換算計算</b>			
日進量 100 ÷ 4.0 = 25 日			
腹起材(H-115×80×4000)			
日進量	腹越長さ(m/本 両側・片側) 段数		
N= 4.0 ÷	4 × 2 × 1 = 2 本		
日数	本数		
賃料(日×本数) t= 5 ×	2 = 10 日・本		
切梁材(水圧サポート)			
腹起本数	単位長さ	両側矢板	
N= 2 ×	2 ÷	2 = 2 本	
日数	本数		
賃料(日×本数) t= 5 ×	2 = 10 日・本		

矢板総重量 **242** kg

区間	B工区		
施工延長	L= 8.0 m	日進量	L= 4.0 m/日
矢板長さ	L= 2.5 m	矢板幅	w= 0.333 m/枚   矢板単位重量 w= 10.1 kg/枚
支保工	N= 2 段		
両側・片側	2 (両側:2、片側:1)		
換算施工日数	$D1 = \frac{\text{延長}}{\text{日進量}} = \frac{8}{4} = 2 \text{ 日}$		
不稼働率	$D2 = \frac{\text{延長}}{\text{日進量} \times \text{稼働率}} = \frac{8}{4 \times 1.5} = 1.33 \text{ 日}$		
換算日進量	$L = \frac{\text{延長}}{\text{換算日数}} = \frac{8}{2} = 4.0 \text{ m}$		
矢板枚数	$N = \frac{\text{延長}}{\text{矢板幅}} \times \text{両側} = \frac{4.0}{0.333} \times 2 = 24 \text{ 枚}$		
矢板運搬重量	$W = \text{枚数} \times \text{単位重量} = 24 \times 10.1 = 242.4 \text{ kg}$		
<b>100m当り換算計算</b>			
日進量 100 ÷ 4.0 = 25 日			
腹起材(H-115×80×2000)			
日進量	腹越長さ(m/本 両側・片側) 段数		
N= 4.0 ÷	2 × 2 × 2 = 8 本		
日数	本数		
賃料(日×本数) t= 3 ×	8 = 24 日・本		
切梁材(水圧サポート)			
腹起本数	単位長さ	両側矢板	
N= 8 ×	2 ÷	2 = 8 本	
日数	本数		
賃料(日×本数) t= 3 ×	8 = 24 日・本		

## 個人情報取扱特記仕様書

### 1 基本的事項

受注者は、個人情報の保護の重要性を認識し、この契約による事務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報を適切に取り扱わなければならない。

### 2 秘密の保持

受注者は、この契約による事務に関して知ることができた個人情報をみだりに他人に知らせてはならない。この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

### 3 収集の制限

- (1) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、事務の目的を明確にするとともに、事務の目的を達成するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。
- (2) 受注者は、この契約による事務を処理するために個人情報を収集するときは、本人から収集し、本人以外から収集するときは、本人の同意を得た上で収集しなければならない。

### 4 利用及び提供の制限

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報を契約の目的以外の目的のために利用し、又は第三者に提供してはならない。

### 5 適正管理

受注者は、この契約による事務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失及びき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

### 6 複写又は複製の禁止

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡された個人情報が記録された資料等を、複写し、又は複製してはならない。

### 7 再委託の禁止

受注者は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、発注者が承諾した場合を除き、第三者にその処理を委託してはならない。

### 8 資料等の返済等

受注者は、この契約による事務を処理するために発注者から引き渡され、又は受注者自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、事務完了後直ちに発注者に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、発注者が別に指示したときは、その指示に従うものとする。

### 9 従事者への周知

受注者は、この契約による事務に従事している者に対して、在職中及び退職後において、その事務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならないこと及び契約の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知するものとする。

### 10 実地調査

発注者は、必要があると認めるときは、受注者がこの契約による事務の執行に当たり取扱っている個人情報の状況について、随時実地に調査することができる。

### 11 事故報告

受注者は、この契約に違反する事態が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに発注者に報告し、発注者の指示に従うものとする。

## 障害者差別解消法等に基づく差別的取扱いの禁止及び合理的配慮の提供についての留意事項に関する特記事項

(受注者の責務)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律第10条第1項の規定に基づく「藤枝市における障害を理由とする差別を解消するための職員対応要領」(平成28年3月11日藤枝市長決定)第2条に規定する不当な差別的取扱いの禁止及び第3条に規定する合理的配慮の提供について留意すること。

## 工事写真の電子データに関する特記仕様書

### 第1条（工事写真の提出）

当該工事（以下「本工事」という。）の工事写真を電子データの対象とするか否か、受注時に発注者、受注者協議の上、選択できるものとする。対象とした場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（工事写真）

工事写真は「写真管理基準」により撮影したものを指す。

### 第3条（電子データの作成）

電子データは、国土交通省版の「デジタル写真管理情報基準」に基づいて作成するものとする。

### 第4条（提出方法）

納品は要領に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R）で2部提出する。  
なお、納品の際には事前にエラーチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで納品するものとする。

### 第5条（定めなき事項）

本仕様書および共通仕様書に定めのない事項や疑義が生じた場合は、必要に応じ監督員と協議するものとする。

## 情報共有システム（ASP）の活用に関する特記仕様書

### 第1条（情報共有システムの活用）

本工事は、発注者及び受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システム(ASP)の対象工事である。実施にあたっては「藤枝市における情報共有システム活用要領」及び「藤枝市における情報共有システム活用の手引き」に基づき実施する。受注者は、情報共有システムの利用の有無を発注者と協議し決定する。利用する場合に必要な事項を以下のとおり定める。

### 第2条（システムの選定）

受注者は、本工事で使用する情報共有システムを選定し、発注者と協議し承諾を得なければならない。利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。

- ・「土木工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件（最新版）

（国土交通省）

- ・「建築・建築設備工事」の場合

工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 営繕工事編（最新版）

（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課施設評価室）

### 第3条（利用契約）

発注者及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は、受注者が行うものとする。また、利用開始日、必要なユーザーID数やワークフロー機能の対象者等については、「事前協議チェックシート」に基づき、担当監督員と協議するものとする。

### 第4条（費用負担）

情報共有システムを利用する発注者及び受注者の費用は、情報共有システムへの登録料及び使用料であり、設計図書における経費のうち、共通仮設費の率分（技術管理費）に含まれるものとし、受注者の負担とする。

## 遠隔臨場の試行に関する特記仕様書

本工事（業務）は、遠隔臨場の試行の対象であり、受発注者間の調整により、遠隔臨場を実施することができる。

### （定義）

第1条 遠隔臨場とは、建設現場において、モバイル端末等による映像と音声の双方向通信を用いた立会・段階確認及び検査のことをいう。

### （適用）

第2条 遠隔臨場は、受注者がモバイル端末等で撮影した映像と音声を監督員又は検査員等にリアルタイム配信を行い、双方向通信により相互に確認を行うことにより、必要とする情報の入手が可能と監督員又は検査員が判断した場合に限り、臨場又は実地に替えることができるものとする。

### （実施方法）

第3条 受注者は、遠隔臨場を行う場合、以下の作業を実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、監督員と遠隔臨場の実施日時、適用（確認する項目・内容）、仕様（使用する機器・アプリケーションまたはサービス）、その他必要な事項について調整する。なお、電話、メール等での調整を可とする。

#### （2）実施記録

受注者は、遠隔臨場が行われた証拠として、通信履歴の画面キャプチャ（写真）、通話中の監督員又は検査員の映像を含む写真等のいずれかの記録を行うものとする。

遠隔臨場が行われた内容の記録は、監督員又は検査員の臨場又は実地に替えて黒板に遠隔臨場であることを明記した写真により行うものとする。

### （実施手続）

第4条 遠隔臨場は、以下の手順により実施する。

#### （1）事前調整

受注者は、遠隔臨場の実施について、監督員と事前調整する。

#### （2）立会・段階確認、検査の申請

受注者は、遠隔臨場を実施する場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認項目欄又は検査依頼書の検査の種類欄に遠隔臨場であることを明記する。実施日時等の取扱いは、臨場の場合と同様とする。

ただし、監督員又は検査員が臨場の必要があると判断した場合は、遠隔臨場による申請を行った場合においても、臨場により実施するものとする。

#### （3）立会・段階確認、検査の実施

受注者は、実施予定日時に、監督員又は検査員に対して通信を開始して実施する。

ただし、監督員又は検査員が必要とする情報が得られないと判断した場合は、遠隔臨場を中止し、通常の臨場による確認を実施するものとする。

#### （4）立会・段階確認、検査の確認

受注者は、遠隔臨場による立会・段階確認を実施した場合、段階確認・立会願（第2号様式）の確認書に、実施記録を添付し監督員に提出するものとし、遠隔臨場による検査を実施した場合は、検査終了後速やかに実施記録を監督員経由で検査員に提出するものとする。

(機材等の手配・仕様)

第5条 受注者は、以下の項目により遠隔臨場に必要な機器等を準備するものとする。

- (1) 受注者は、現場で必要となるモバイル端末及び通信回線等の準備を行う。
- (2) 発注者は、発注者が保有するインターネット通信が可能なタブレット端末等を利用する。
- (3) 利用するアプリケーションまたはサービスは、発注者が保有するタブレット端末等で利用が可能であり、かつ、発注者の利用に際して新たな費用負担が生じないものを受注者が選定する。

(費用)

第6条 受注者が行う機材等の手配に要する経費は、共通仮設費（業務の場合は諸経費）の率分に含まれるものとし、別途計上しない。

(調査への協力)

第7条 受注者は、遠隔臨場を実施した場合、有効性や効果、課題等について把握するためのアンケート調査等に協力する。

## 藤枝市週休2日工事（土木工事）特記仕様書

### （目的）

第1条 本特記仕様書は、公共工事の品質確保並びにその担い手の中長期的な育成及び確保が重要な課題となっていることに鑑み、建設現場における休日確保型工事の実施に伴い必要となる経費を適切に計上することにより、週休2日の取得が可能な環境づくりを推進し、その労働環境の改善を目的とする。

### （用語の定義）

第2条 この要領において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 対象期間 工事着手日（準備期間を除く。）から工事完成日（後片付け期間を除く。）までの期間のことをいう。ただし、年末年始休暇（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている期間は含まない。
- (2) 休工期 対象期間において、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所された日（巡回パトロール・保守点検等、現場管理上必要な作業のみを行う場合は休工期に含む。）をいう。
- (3) 現場閉所率 対象期間における休工期の割合（休工期数／対象期間日数）を百分率で表示したものをいう。
- (4) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月において、週休2日の状態をいう。  
ただし、土曜日、日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日、日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。
- (5) 通期の週休2日 対象期間の現場閉所率が28.5%以上の状態をいう。

### （費用の計上）

第3条 週休2日工事の費用計上は、対象期間中の現場の閉所状況に応じ、静岡県が定める「週休2日推進工事積算要領」の規定に準じ、補正係数を乗じて行うものとする。

### （実施方法）

第4条 週休2日工事の実施方法は、次のとおりとする。

- (1) 受注者は、現場着手日までに4週8休以上の休工期取得計画表を監督員に提出しこれに基づき施工を行う。
- (2) 受注者は、計画に変更が生じた場合には、その都度、変更した休工期取得計画表を監督員に提出する。
- (3) 監督員は、受注者に工事記録簿等の資料の提出を求め、休工期及び現場閉所率について確認を行う。なお、4週8休以上の休工期が確保できなかった場合には、静岡県週休2日推進工事（土木工事）実施要領の規定に準じ、現場閉所率に応じた費用計上

による減額変更契約を行うものとする。

(工期設定の条件)

第5条 設定された工期に見込まれている特記事項は、次のとおりとする。

- (1) 雨休率 休日と降雨降雪及び猛暑日数の年間の発生率をいう。この場合において、休日は、日曜日及び土曜日、祝日、年末年始休暇（6日）並びに夏季休暇（3日）とし、降雨降雪及び猛暑日数は地域ごとに算出が困難なため、「0.9」とする。

ただし、猛暑期間（6月～9月）外の工事については、猛暑日を考慮しない雨休率「0.8」とする。

- (2) 工事の性格 ( ) 日  
(3) 地域の事情 ( ) 日  
(4) 自然条件 ( ) 日  
(5) その他 ( ) 日

地下埋設物調査書 (市道仮宿下付田高田線道路整備工事に伴う配水管布設工事)

埋設物	埋設状況			管理者	
	縦方向	横方向	特殊箇所	市	管理側
水道管	HPE φ100 HPE φ150				
ガス管	施設管理図により地下埋設物がないことを確認した。				
大井川広域水道企業団	Dφ200	Dφ200			大井川広域水道企業団 安達
大井川土地改良区	施設管理図により地下埋設物がないことを確認した。				
N T T ケーブル	施設管理図により地下埋設物がないことを確認した。				
中部電力ケーブル	施設管理図により地下埋設物がないことを確認した。				
下水道管	施設管理図により地下埋設物がないことを確認した。				

【位置図】

